

平成29年度 狭山市立狭山台小学校 学校関係者評価報告書

【評価の目安】 A：よくできている(90%) B：概ねできている(75%)
C：あまりできていない(60%) D：できていない(60%未満)

目標領域	番号	項目	教職員	保護者	児童	改善策(説明)	学校関係者評価委員から(評価)
かしこい子	1	児童は、相手に届く声で話したり音読したりしている。	B	A	A	・聞く人・読む人を意識して、届く声・ていねいな文字の指導をしてきた。引き続き指導を要する。	・授業を丁寧にやっていることがよくわかった。授業に関する評価項目がよい評価になっており、先生方が自信をもってやっているのがよい。ベテランの先生の授業が大変素晴らしい。 ・教室の掲示物がわかりやすく視覚に訴える掲示になっており、ユニバーサルデザインへの取り組みがよくなされている。
	2	児童は、文字を丁寧に書いている。(下敷き・消しゴムを上手に使う)	C	B	B	・学習内容の定着を図るため、また家庭学習の量的な拡大を図るためにSSVCの支援を受けるようにした。	
	3	児童は、進んで家庭での学習に取り組んでいる。(塾等での学習を含めて〔10×学年〕分)	B	B	B	・算数を中心に単元を通じてわかりやすく指導することを研究してきた。児童アンケートで「勉強がすきだ」と回答している児童は87.2%であり、4月県調査でも学習する理由に「楽しい・好きだから」という回答が県平均より10～22ポイント高く、主体的に学べるように導いている成果の表れと考えられる。	
	4	学校(教員)は、わかりやすい授業に努めている。(めあての明示、児童が自分の言葉でまとめる授業の展開)	A	A	A		
	5	学校は、学習内容が子供に身に付くように努めている。	A	A	A		
やさしい子	6	児童は、自分から目を見て挨拶している。	C	B	A	・挨拶については、児童会活動と連携し主体的に取り組めるように計画的に指導してきた。(全学級が取り組む挨拶運動、児童会の挨拶運動、中学生との挨拶運動等)進んで挨拶ができるよう指導を継続する必要がある。 ・言葉づかいは指導と合わせて人権教育を進めた。いじめ等の防止のために年3回のアンケート調査、年2回のQUテストを分析し活用した。第2回QUテスト結果からは、取り組みによるものと考えられる改善が多く見られた。 ・道徳授業の充実、学級活動の活性化を図り、自己有用感を高める取り組みを進めたことの結果が項目8及び項目9に表れている。	・挨拶は、気持ちの良い挨拶ができる子が増えているように感じるが、通学班集合場所での挨拶の習慣ができるとうい。 ・言葉づかいは、気になる。引き続き指導に力を入れてほしい。 ・上級生が下級生を気遣うというよい流れ・伝統ができており、集団のために活動でき学校が楽しいと思えている児童が多いことは素晴らしい。 ・なかよしランチは、よい取り組みだと思う。
	7	児童は、相手を思いやるやさしい言葉づかいをしている。	B	B	B		
	8	児童は、集団のために活動している。(係活動、当番活動、清掃など)	A	A	A		
	9	児童が学校は楽しいと思えている。		A	A		
	10	児童にいじめを許さない心を育てるとともにいじめの早期発見・早期対応に努める。	A				
	11	内面を高めていく道徳授業の展開。道徳的実践力を高める指導。	B				
	12	学校は、児童が安心して過ごせる環境を作っている。	A	A	A		
たくましい子	13	児童は、何事にもあきらめずに最後まで取り組んでいる。	B	B	A	・「まじめな行動」を重点として清掃にも取り組ませている。教員の見届けと評価で児童は意欲的に取り組んでいる。 ・運動のカード等により意欲化を図るとともに校庭整備、運動の場づくりを進め、体力向上を図っている。体力テストの結果では、県目標値を上回っているが、数値は昨年度より下がってきているので対策を検討する。 ・安全確保のため、点検をこまめに行いその都度対処している。引き続き施設管理、安全指導に努めていく。交通安全に関しては、今年度は交通事故0を継続しているが危険な状況がまだ見られる。引き続きしっかり指導していきたい。	・早寝早起き朝ごはんの項目で、できていないとの回答が児童・保護者とも数%あり、心配である。家庭への啓発が必要であろう。 ・交通ルールの遵守、自転車の乗り方指導等、交通事故防止に引き続き取り組む必要がある。 ・交通安全のため3年生まで黄色帽子を着用させたい。
	14	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B	B	A		
	15	児童は、早寝・早起きをし朝ごはんを食べて登校している。	B	A	A		
	16	児童は、交通ルールを守り、安全な歩行・自転車乗車をしている。	B	A	A		
	17	学校は、体力を向上させるための指導や環境づくりに取り組んでいる。	B	A	A		
	18	学校は、児童の安全確保に努めている。(安全指導、清掃、修繕等)	A	A	A		
公開・連携	19	学校は、学校公開、授業参観・懇談会、学校だよりや学年だよりなどで学校や教育活動の様子がわかるようにしている。	A	A	A	・学校だより、学年便り、各種通知文書等により、教育活動を伝えるとともに理解・協力を求め、教育活動の充実に努めた。 ・家庭訪問、個人面談、さらに適宜、面談、電話連絡等を行い連携を深めた。 ・親子活動、地域との連携行事を進めた。親子活動の内容の充実が図れた。 ・会計は毎年度、管理職とPTA役員でチェックしている。	・地域と連携した教育活動が幅広く展開されており、ぜひ継続してほしい。 ・様々な課題の解決にあたり、保護者と教員、教員同士がよく連携できていて良い。
	20	学校は、保護者が教員に相談しやすい環境をつくっている。	A	A	A		
	21	学校は、保護者や地域との連携に努めている。	B	A	A		
	22	学校は、学年・行事等の会計を適切に処理し報告している。	A	A			
教職員	23	全教職員で学校経営方針に基づき組織的に教育活動を進めている。	A			・全教職員で共通理解を図り、組織としてまとめた教育活動ができた。 ・学校研究に意欲的に取り組み授業研究を深めたことが授業改善に結びついている。 ・教職員の在校時間管理にタイムカードが導入され、職務の効率化の意識は高まった。引き続き負担軽減を検討していく。	・学校の負荷が大きくなっている。先生方がゆとりを持てるように、先生方の働く環境がよくなってほしいと願う。
	24	教職員が組織の一員として自分のよさを発揮して勤務している。	B				
	25	教職員が積極的に研修に取り組むとともに、自己研鑽に努めている。	A				